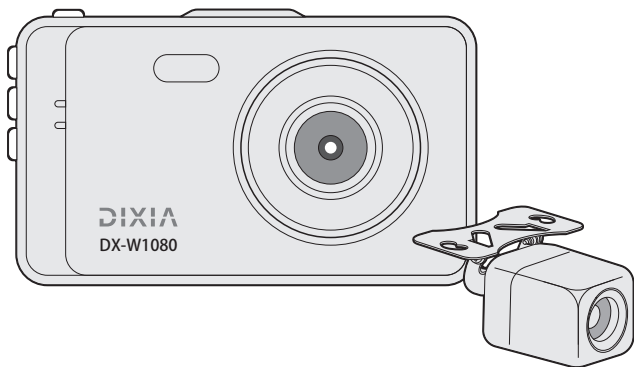




DIXIA

ダブルフルHD DX-W1080 ドライブレコーダー

取扱説明書



このたびは、ダブルフルHDドライブレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上の注意」の内容を必ずお守りください。

本取扱説明書の巻末に製品保証書が添付されていますので、必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。また、ボタンの位置等をわかりやすくするため、配色を変更しています。

※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全上のご注意	3	5. 仕様表	32
2. ご使用になる前に		6. お手入れ・メンテナンス	33
2-1. 内容物の確認	6	7. 故障かな?と思ったら	34
2-2. 各部の名称と機能	7		
●操作ボタンの機能概要	8		
3. はじめてご使用になるとき	9	8. アフターサービスについて	38
3-1. microSDHC/SDXC			
カードをセットします	10	製品保証書	巻末
3-2. 充電します	11		
3-3. 時計をセットします	13		
3-4. 本体・リアカメラを			
取り付けます	13		
3-5. 電源を接続します	16		
3-6. 録画してみましょう	17		
3-7. 再生してみましょう	17		
4. 機能解説	18		
4-1. 各モード関連図	18		
●設定画面の操作	19		
4-2. 動画モード	20		
4-3. 撮影モード（静止画）	26		
4-4. 再生モード（ファイルの削除）	27		
4-5. microSDHC/SDXCカードのフォーマット	29		
4-6. 本体の初期化	29		
4-7. PCとの接続	30		
4-8. 設定値一覧	31		

1 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。
本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示と絵表示の意味



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



- 運転中は本製品の操作をしたり、本製品の液晶画面を見ない。**

重大な事故の原因となります。運転中は液晶画面表示を見たり、操作しないでください。本製品を操作する場合は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。



- 運転操作に支障をきたさない場所に本製品、ケーブル等を設置する。**

設置の際は運転手の視界のさまたげにならないか確認してください。また、ケーブル等がレバーやハンドル等に絡んだり、サイドエアバッグ等に干渉しないよう、取り回しにはご注意ください。また、運転中に落下しないよう確実に取付を行ってください。



- 本製品を分解・改造しない。本製品内に異物を入れない。**

火災・感電・故障の原因になります。故障の際はご自分で修理なさらず、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。



- 水やその他液体、薬品をかけない。火中に投げ入れない。**

火災・感電・故障・爆発の原因になります。



●指定された電源で使用する。

火災・感電・故障の原因になります。付属のアダプターを使用し、シガーソケット（12Vのみ。24Vには非対応）で使用ください。

⚠ 注意



●高温になる場所で長時間放置・使用しない。

火災・故障の原因になります。



●エンジンを止めた状態で長時間本製品を使用しない。

車両のバッテリーが放電され、エンジンがかからなくなる可能性があります。また、車種によってはキーを抜いた状態でもシガーソケットから電源が供給されることがあります。不使用時には本製品のシガーブラグアダプタをシガーソケットから取り外してください。



●日本国外で使用しない。

本製品は日本国内用に設計されています。他国では安全基準などが異なる場合があります。



●シガーソケット内の汚れを取り除く。

シガーソケット内にほこりや汚れが付着している場合、本製品の動作が不安定になることがあります。

⚠ 使用上のご注意

●本製品についてのご注意

※ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。

※本製品は、舗装された公道を走行する車両に取り付けて使用することを想定して設計されています。オフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や、競技車両には使用できません。

※LED式信号機を撮影した場合、信号が点滅、または消灯して映ってしまうことがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。この現象は仕様によるものであり、弊社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本機で記録した内容は個人で楽しむ他は、肖像権や著作権に関する法律により、権利者に無断で使用することはできません。動画サイトにアップするなどの行為はお控えください。

●microSDHC/SDXCカード（別売）についてのご注意

※microSDHC/SDXCカードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください（使用期限は各メーカーの保証書換回数によります）。保証書換回数を超えたカードを使用すると、正常にファイルが記録されない場合があります。

※本機で使用するmicroSDHC/SDXCカードをPC以外の他の機器（スマートフォン、タブレット等）で使用しないでください。他の機器のデータが入っているカードを使用すると、本機が誤動作を起こすことがあります。

※ご使用のmicroSDHC/SDXCカードは定期的にフォーマットを行ってください。
1カ月に1度を目安にフォーマットしてください。  ページ

※すべてのmicroSDHC/SDXCカードの動作を保証するものではありません。動作しない場合、他のカードをご使用ください。

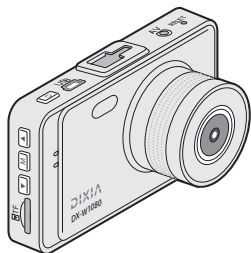
免責事項

- 本製品を設置したことによる車両や車載品の故障、破損については弊社では一切責任を負いかねます。
- 本製品で撮影した動画や静止画は、事故などのトラブルに対して法的な証拠能力を保証するものではありません。
- 本製品の故障、トラブルなどで映像が記録できなかった場合、その他の理由でデータが消失してしまった場合でも、弊社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品で記録された映像に関するトラブル（被撮影者の肖像権、著作権、プライバシー権等）については弊社では一切責任を負いかねます。

2 ご使用になる前に

2-1. 内容物の確認

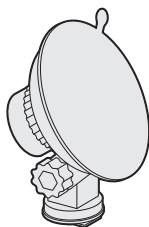
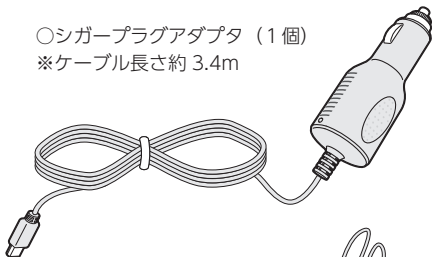
パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。
本体や付属品を箱から取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。



○本体 (1 個)

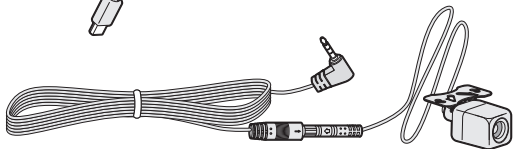
○シガープラグアダプタ (1 個)

※ケーブル長さ約 3.4m



○マウンタ (1 個)

※本体固定用



○リアカメラ + 接続ケーブル (1 個)

※ケーブル長さ約 0.45m+5.4m



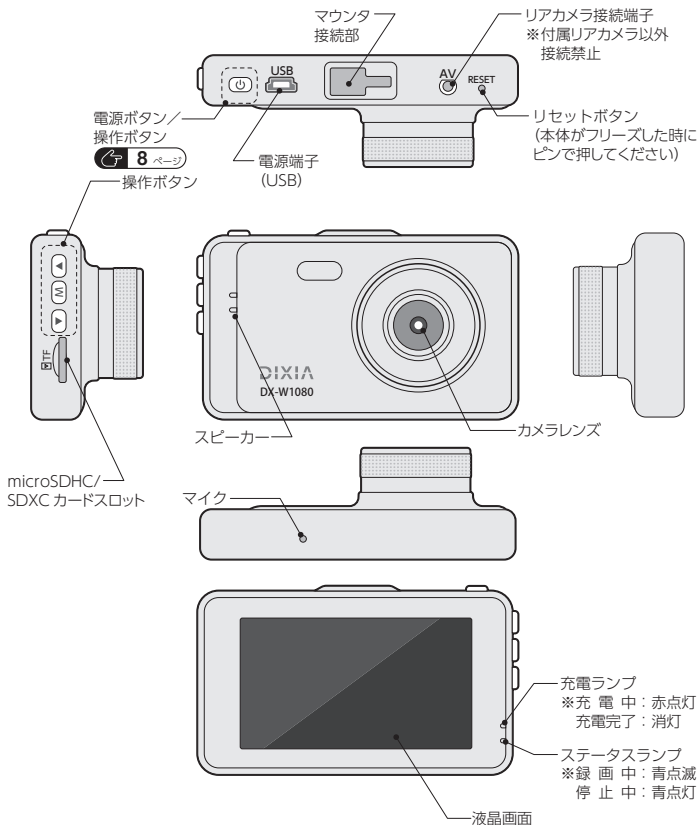
○両面テープ (1 個)

※リアカメラ固定用

※microSDHC/SDXC カードは付属していません。別途ご用意ください。

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、38ページを参照の上、ご購入店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

2-2. 各部の名称と機能



●操作ボタンの機能概要

	電源ボタン：全モード時、長押しで電源の ON / OFF の切替 録画ボタン：動画／静止画モード時、録画開始／撮影 決定ボタン：メニュー画面で、選択した項目の決定 再生／停止ボタン：再生モード時、選択した動画の再生／停止
	モード切替ボタン：長押しで動画→静止画→再生の各モードを切替 設定画面表示ボタン：メニュー画面の表示 キャンセルボタン：メニュー画面で、項目のキャンセル
	カーソル移動ボタン：メニュー画面で項目の移動 再生フォルダ切替ボタン：再生モード時、長押しでフロントカメラ／リアカメラのフォルダ切替 レイアウト切替ボタン：動画モード時、画面のレイアウト切替
	カーソル移動ボタン：メニュー画面で項目の移動 マイク切替ボタン：動画モード時、マイクの ON / OFF 切替

※各ボタンに長押し／短押しで複数の機能が割り当てられています。
操作時は取扱説明書をよくお読みください。



3 はじめてご使用になるとき

本製品をはじめてお使いになるときの操作を、順番に説明しています。

① microSDHC/SDXC カードをセットします **10** ページ

② 充電します **11** ページ

③ 時計をセットします **13** ページ

④ 本体・リアカメラを取り付けます **13** ページ

⑤ 電源を接続します **16** ページ

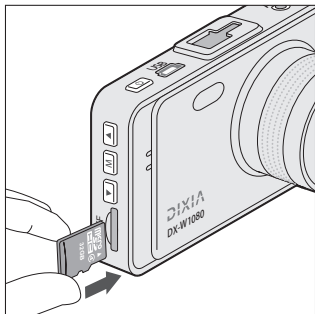
⑥ 録画してみましょう **17** ページ

⑦ 再生してみましょう **17** ページ

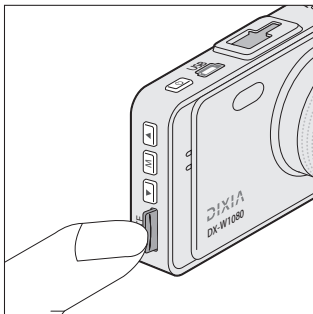


① microSDHC/SDXC カードをセットします

本体側面にmicroSDHC/SDXCカードスロットがあります。カードの故障を防ぐため、カードの抜き差しは、電源をOFFの状態で行ってください。



①レンズ側にカードの表面を向け、スロットに対してまっすぐ挿入します。



②カチッという音がするまでツメで押し込んでください。押し込んだ後、指を離してもカードが出てこないことを確認してください。

取り外す際は、ツメでカードを押し込み、指を放します。カードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。

※スロットのバネでカードが飛び出てしまうことがあります。カードの抜き差し時は紛失にご注意ください。

カードの向きに注意

microSDHC/SDXCカードには表裏があります。逆向きにセットすると、故障します。



表



裏

端子部には触れないでください。

●使用するmicroSDHC/SDXCカードについて

Class 10以上のmicroSDHC/SDXCカードをご用意ください（製品には付属していません）。

16GBから最大64GBまでのmicroSDHC/SDXCカードに対応しています。（32GBのカードで約120分撮影可能です（解像度1080Pの場合）。ただし、最大撮影時間を保証するものではありません。）

※カードの不具合を避けるため、録画された映像を定期的を確認してください。

定期的なフォーマット

使用開始後、microSDHC/SDXCカードは1カ月に1度を目安にフォーマットしてください。

定期的にカードを交換

microSDHC/SDXCカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。1年に1度は交換することを推奨します。

29 ページ

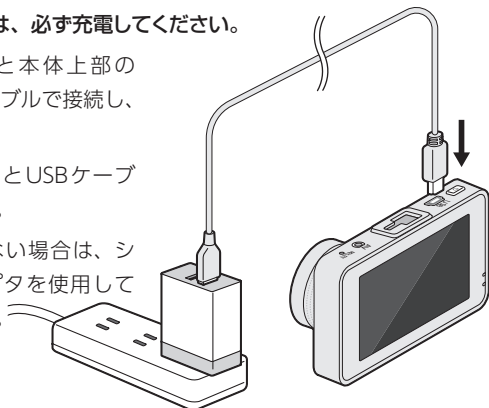
② 充電します

初めてご利用の場合は、必ず充電してください。

USB充電アダプタと本体上部のUSB端子をUSBケーブルで接続し、充電してください。

※USB充電アダプタとUSBケーブルは付属しません。

※USBケーブルがない場合は、シガープラグアダプタを使用して充電してください。



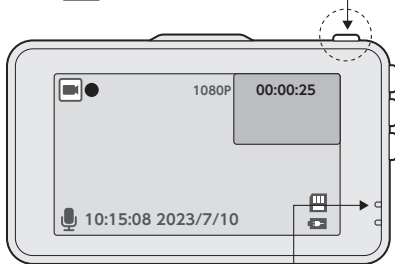


電源に接続されると、自動的に電源がONになり、録画が開始されます。

※「SDカードを挿入してください」と表示された場合、microSDHC/SDXCカードが正しくセットされていません。

電源 ボタンを押して録画を停止させ、**電源** ボタンを長押しして電源をOFFにします。電源がOFFになっても充電は継続されます。

- 電源** ボタン短押しで録画停止
- 電源** ボタン長押しで電源OFF



充電中は赤点灯。
充電完了したら消灯します。

●このまま満充電まで充電を継続します。

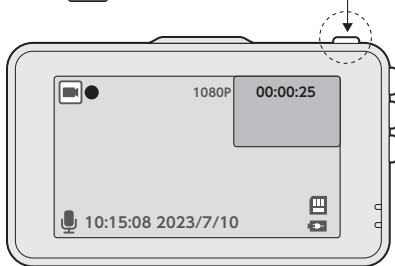
満充電までの時間はUSB充電アダプタの規格にもよりますが、1時間程度充電を続けてください。

充電が完了したら、次の手順のために**電源** ボタンを押して電源をONにします。

再び録画が開始された場合は、**電源** ボタンを押して録画を停止させてください。

※操作中や充電中に本体が熱くなることがありますが故障ではありません。

- 電源** ボタン長押しで電源ON

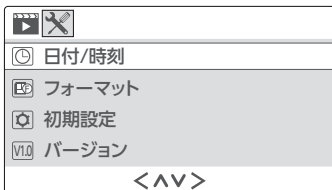


③ 時計をセットします

次の手順で、内蔵時計の日付と時刻の設定をします。

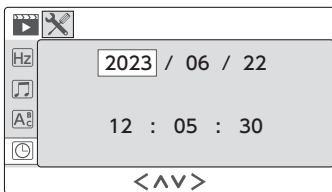
①電源をONにします。録画中になった場合は **電源** ボタンを押して停止します。

② **M** ボタンを 2 回押して共通設定画面を表示します。



③ **▲ ▼** ボタンで「日付 / 時刻」を選択し、**電源** ボタンを押します。

④年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 / 年月日の表示順序の順番で設定します。数値は **▲ ▼** ボタンで調整します。カーソルを移動させるには **電源** ボタンを押します。

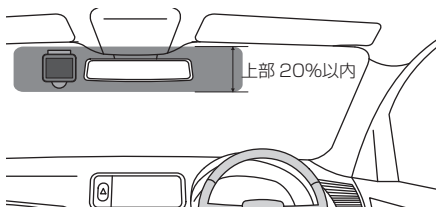


⑤設定が終わったら、**M** ボタンを 2 回押して設定画面を終了します。

④ 本体・リアカメラを取り付けます

本体（フロントカメラ）の取付位置はフロントガラスの上部 20%が目安です。

運転操作に支障をきたさないよう、ケーブルの取り回しにはご注意ください。

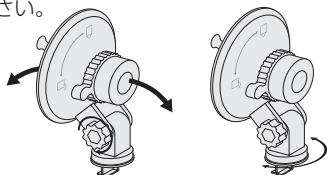




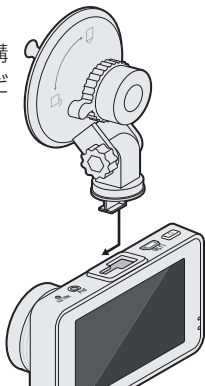
● 本体取付方法

- ① まず、本体にマウンタを取り付けます。

右図のように、本体上部とマウンタ下部の溝を合わせてスライドさせ、取り付けてください。



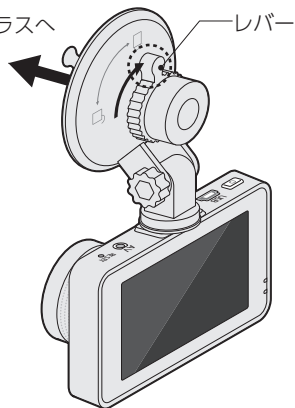
※マウンタは前後、左右に角度調節ができます。
前後に調節する場合は側面のダイヤルを緩め、
角度を決めた後に締め直してください。



- ② マウンタの吸盤部をフロントガラスに押し当て、レバーを時計回りに90°回転させます。

※取り外すには反時計回りに90°回転させてください。

フロントガラスへ

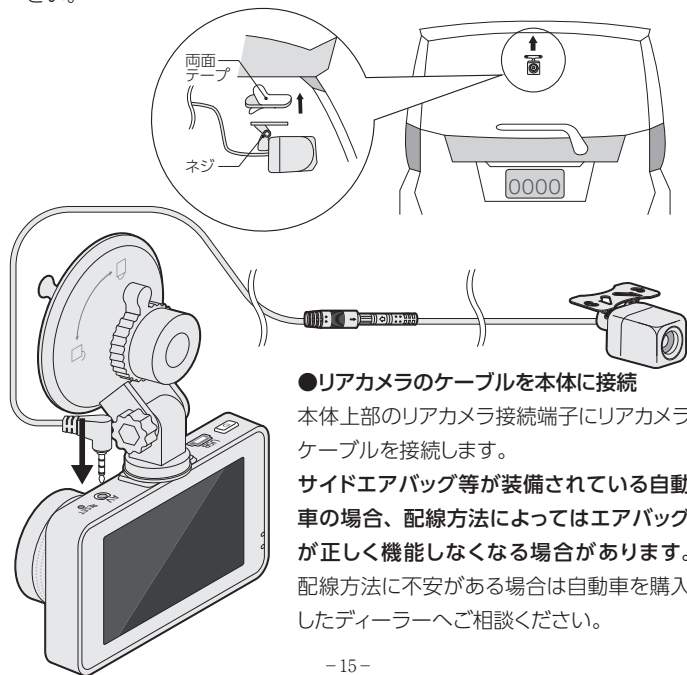


●リアカメラの取り付け

車内の天井に両面テープを使用して取り付けてください。

リアカメラには角度調節ネジがありますので、ドライバーを使用して任意の角度に調節してください。

※自動車の構造的に天井への取り付けが難しい場合は、市販のドライブレコーダーリアカメラ用マウンタなどを使用してリアガラスに取り付けてください。



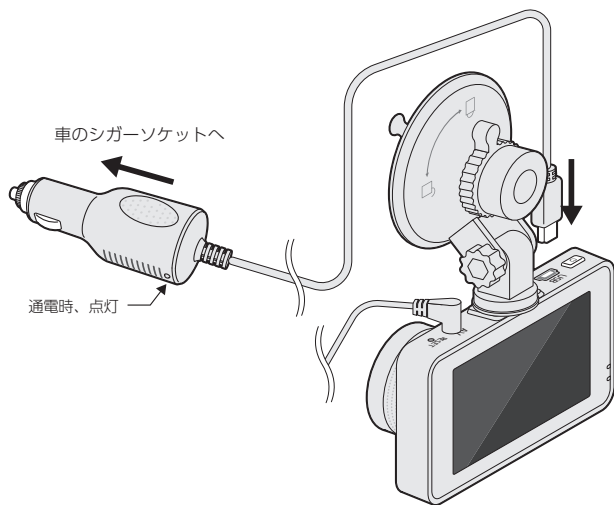
●リアカメラのケーブルを本体に接続

本体上部のリアカメラ接続端子にリアカメラケーブルを接続します。

サイドエアバッグ等が装備されている自動車の場合、配線方法によってはエアバッグが正しく機能しなくなる場合があります。配線方法に不安がある場合は自動車を購入したディーラーへご相談ください。



⑤ 電源接続します



本体上面にある電源端子（USB端子）と、車のシガーソケットを付属のシガープラグアダプタで接続します。

※シガープラグアダプタ以外の電源での録画は保証いたしません。正常に録画できない可能性があります。

⑥ 録画してみましょう

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がONになり、録画が始まります。

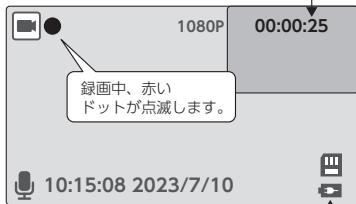
エンジンを停止し、シガーソケットへの通電が停止されると、自動的に録画が停止し、電源がOFFになります。

手動で録画を停止/再開するには
 ボタンを押します。

※最初は試験録画を1分ほど行い、手動で録画を停止させてください。

録画経過時間
(赤文字で表示します)

※初期設定では1分ごとに録画ファイルが作成されます。
録画経過時間も1分ごとにリセットされます。



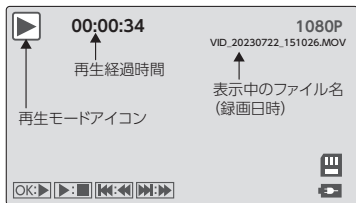
電源に接続されていることを示すアイコンです。

⑦ 再生してみましょう

M ボタンの長押しを2回行い、「再生」モード画面にします。

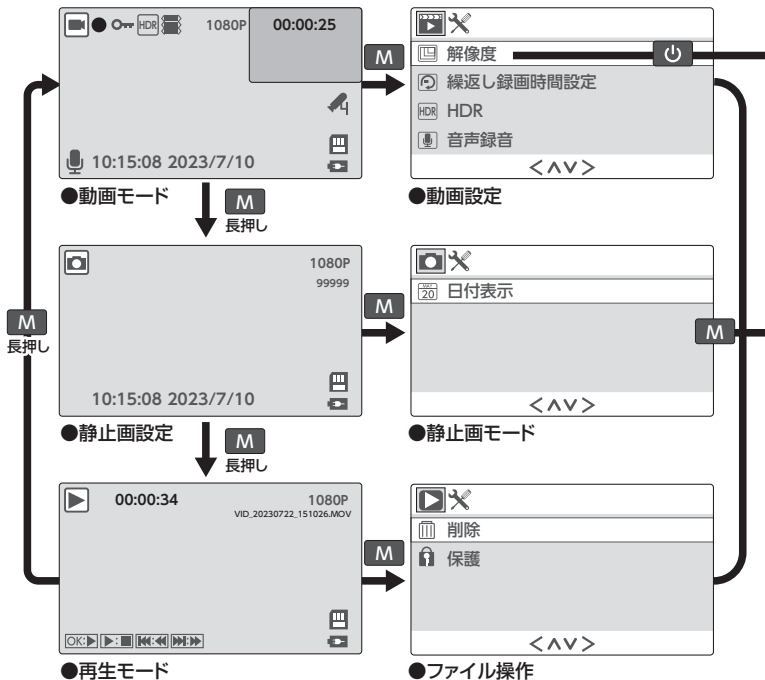
ファイルが複数ある場合、再生したいファイルを ボタンで選択します。 ボタンで再生が開始されます。もう一度 ボタンを押すと再生が停止します。

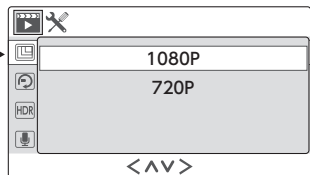
ファイルの再生やコピーはPCでも行えます。カードの抜き差しは、電源をOFFにしてから行ってください。



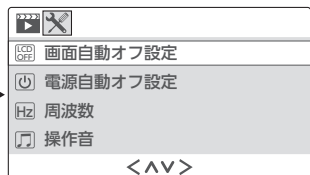
4 機能解説

4-1. 各モード相関図





各パラメータ設定



●共通設定



各モード
画面へ復帰

●モードの切替

M ボタンを**長押し**するごとに、「動画→静止画→再生」の順でモードが切り替わります。

●設定画面の表示

各モード時に**M** ボタンを押すと、そのモード固有の設定画面が表示され、設定が行えます。もう一度

M ボタンを押すと共通設定画面（システムの設定）が表示されます。

※録画中は設定画面を表示できません。動画モード時は録画を停止してから操作してください。

●設定画面の操作

各設定画面では、**▲ ▼** ボタンでカーソル（ページ）の移動、**電源** ボタンで決定、**M** でキャンセルの操作が行えます。

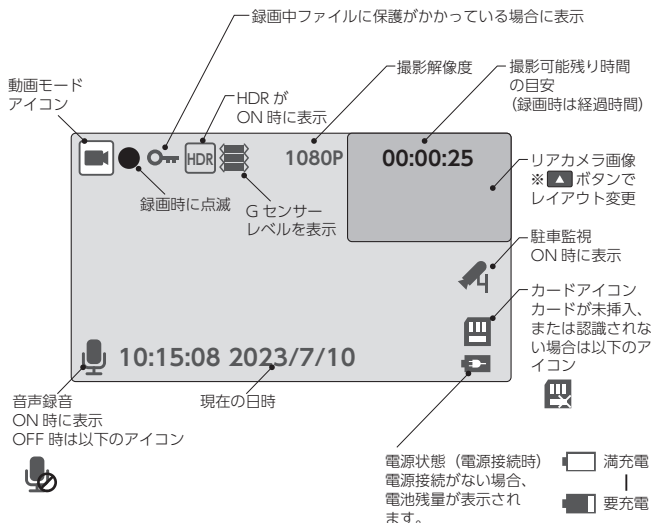
共通設定画面でもう一度**M** ボタンを押すと、各モードの画面に戻ります。

4-2. 動画モード

本製品は電源がON※になると、動画モードで起動し、自動的に録画が開始されます。

※エンジンスタートのほか、 ボタンを長押ししても電源をONにできます。

※内蔵バッテリーで起動した場合は、自動で録画開始されません。



●録画を停止／再開するには

録画の開始／停止は  ボタンを押します。

※エンジンストップなど、録画中に電源が正常に OFF になった場合はその時点までに撮影された動画は保存される設計になっています。

●録画／撮影ファイルについて

フロントカメラ／リアカメラそれぞれの録画ファイルが作成されます。

撮影データは「DCIM」フォルダ内の「1」（フロントカメラ）「2」（リアカメラ）にフォルダに保存されます。フォルダは自動で作成されます。ファイル名の意味は下記の通りです。

※動画ファイルの場合

VID_20230722_151026.mov

撮影年月日 撮影時間 拡張子

※静止画ファイルの場合

IMG_001.jpg

連番 拡張子

※同時刻に撮影された動画ファイル名はフロントカメラ、リアカメラで同一です。

※静止画はリアカメラの画像は撮影されません。



本製品の内蔵バッテリーについてのご注意

本製品の内蔵バッテリーは、各種設定の保持や時計機能のためのものです。外部電源（シガーソケット）に接続しない状態での録画やその他の操作は保証対象外になります。（駐車監視モードでの録画を除く）

内蔵バッテリーの残量が0になると内蔵時計がその時刻で止まります。再び充電された時に動き始める内蔵時計は現在時刻よりも遅れた状態になります。また、各種設定も初期状態に戻りますので、再度設定を行う必要があります。内蔵バッテリーの残量が0にならないよう、**バッテリーのみで長時間動作させないようご注意ください。**

●繰返し録画時間について

1 分ごとに 1 つのファイルが作成され、microSDHC/SDXC カードの容量がいっぱいになると、一番古いファイルから削除されて新しいファイルが保存されます。(初期設定)

繰返し録画時間は度雨が設定から変更できます (1 分 / 3 分 / 5 分)。

※フロントカメラ / リアカメラ共通です。

●保護(上書き禁止)ファイルについて

繰返し録画で自動的に上書きされてしまわないよう、大事なファイルを保護(上書き禁止)することができます。

ファイルが保護される条件は下記のいずれかです。

○録画中に本体が衝撃を感知した時 (G センサー有効時)

○駐車監視モードで起動、録画した時 (駐車監視モード有効時)

G センサー、駐車監視モードは初期値では無効になっています。

〈重要〉保護ファイルとカード容量について

保護ファイルは上書きされないため、増えてくると microSDHC/SDXC カードの容量が不足します。

空き容量が不足したカードでは新たな録画は行なえません。 G センサーや駐車監視モードを有効にした場合は特にご注意ください。短期間で空き容量が不足する可能性があります。

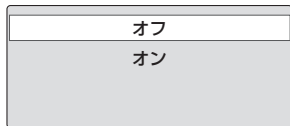
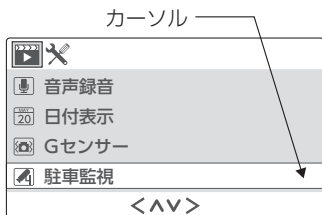
重要な録画ファイルは PC 等で保存し、カードは定期的にフォーマットを行うか、新品と交換してください。

●駐車監視モード

エンジン停止中、衝撃を感知した時に起動し、30 秒間録画を行います。録画ファイルは保護されます。録画が終了すると、電源は自動的に OFF になります。(電源接続時はそのまま通常の繰返し録画を行います。最初の 30 秒のみ録画は保護されます)

駐車監視モードは「動画設定」で ON / OFF を切り替えることができます。初期値は OFF です。また、駐車監視は G センサーを有効にする必要があります。**G センサーを有効にしていないと、衝撃を感知しても録画が開始されませんのでご注意ください。**  24 ページ

- ① 動画モードで **M** ボタンを 1 回押します。
- ②   ボタンで「駐車監視」を選択し、 ボタンを押します。
- ③   ボタンで「オフ/オン」を選択し、 ボタンを押します。
- ④ **M** ボタンを 2 回押して設定画面を終了します。



※駐車監視モードが ON の時、ビデオモード画面に  のアイコンが表示されます。

※充電電池の残量が十分でない場合、またカードの空き容量が不足している場合は録画が行われません。

●G センサー

本体が衝撃を感知した時、録画中のファイルを保護(上書き禁止)します。
G センサーは「動画設定」で ON / OFF、感度の設定を行うことができます。初期値は OFF です。

G センサーの感度は「低／中／高」(下記表参照)から選択できます。

※G センサーが ON の時、ビデオモード画面にアイコンが表示されます。

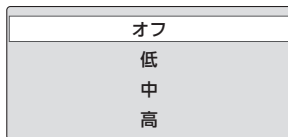
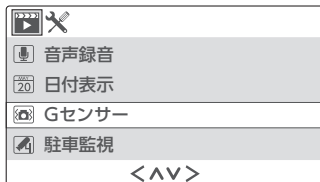
※駐車監視を ON にした場合は G センサーも設定してください。**G センサーを有効にしていないと、駐車中に衝撃を感知しても録画が開始されませんのでご注意ください。**

①動画モードで **M** ボタンを 1 回押します。

② **▲ ▼** ボタンで「駐車監視」を選択し、**電源** ボタンを押します。

③ **▲ ▼** ボタンで「オフ／オン」を選択し、**電源** ボタンを押します。

④ **M** ボタンを2回押して設定画面を終了します。



	設定	意 味
	低	強い衝撃のみ感知します(感度:低)
	中	中程度以上の衝撃を感知します(感度:中)
	高	軽微な振動も感知します(感度:高)

●音声録音

初期値では録画時、音声録音を行います。 ボタンを押すと音声録音の ON/OFF を切り替えることができます。

●画面レイアウトを変更するには

初期状態では画面右上にリアカメラの映像が表示されています。

 ボタンを押すと、画面レイアウトを変更することができます。

●録画ファイルの解像度について

初期値では、フロントカメラ、リアカメラともに 1080FHD (1920×1080)、です。

「動画設定」から、解像度を変更することができます。

●HDR について

逆光の状態でもクリアな画像で録画する機能です。フロントカメラのみ有効です。「動画設定」から、ON/OFF を切り替えることができます。

●日付表示について

録画する画像内に録画日時を記録することができます。初期値は ON です。「動画設定」から、ON/OFF を切り替えることができます。

4-3. 撮影モード（静止画）

撮影モードに切り替えるには、動画モードから **M** ボタンを1回**長押し**します。静止画はフロントカメラでのみ撮影できます。

○画面の構成は下記の通りです。



●撮影するには

静止画を撮影するには、**電源** ボタンを押します。

静止画撮影に関する各種設定は撮影モードで

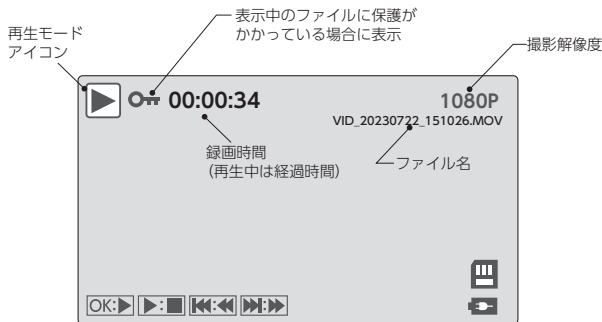
M ボタンを1回押し、「撮影設定」画面で行います。

（日付表示のみ設定が行なえます）

4-4. 再生モード

撮影したmicroSDHC/SDXCカード内の動画／静止画を本体で再生することができます。再生モードに切り替えるには、動画モードから**M** ボタンを2回**長押し**します。

○画面の構成は下記の通りです。



※画面右下の小さな文字の日時は画像内に記録されたものです。

●フォルダを切り替えるには

初期状態ではフロントカメラの録画データを表示しています。リアカメラのデータを表示するには**▲** ボタンを長押しします。

●ファイルを再生するには

▲ **▼** ボタンで表示ファイルを切替、動画ファイルは**⏻** ボタンで再生します。再生を停止するにはもう一度**⏻** ボタンを押します。再生中、**▲** **▼** ボタンで再生速度を調節できます。

●ファイルを削除するには

①再生モード時、削除したいファイルが表示された状態で **M** ボタンを押します。すべてのファイルを削除する場合は、どのファイルでもかまいません。）

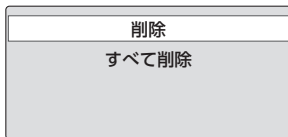
② **▲** **▼** ボタンでカーソルを「削除」に合わせ、**⏻** ボタンを押します。

③表示中のファイルのみ削除したい場合は「削除」に、全てのファイルを削除したい場合は「すべて削除」にカーソルを合わせて **⏻** ボタンを押します。

④「実行」にカーソルを合わせて **⏻** ボタンを押します。

※保護されたファイルは削除できません。

⑤ **M** ボタンを2回押して元の画面に戻ります。



●すべてのファイルを削除するには

保護したファイルを含め、すべてのファイルを削除したい場合は microSDHC/SDXC カードのフォーマットを行ってください。  **29** ページ

●ファイルを保護するには

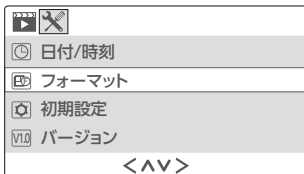
ファイルを保護すると、繰り返し録画やファイル消去の操作で削除されなくなります。（パソコンでのファイル操作や、フォーマットでは削除されます。）

再生モードでファイルを保護／解除を行うには、ファイル削除の手順で「保護」の項目を選択してください。

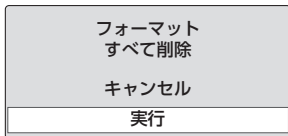
4-5. microSDHC/SDXC カードのフォーマット

フォーマットを行うと、保護したファイルも含め、全てのファイルが削除されます。

- ①各モード時（動画モードでは録画停止中）、**M** ボタンを 2 回押します。「共通設定」画面が表示されます。



- ② **▲ ▼** ボタンで「フォーマット」にカーソルを合わせ、**⏻** ボタンを押します。
- ③「実行」にカーソルを合わせ、**⏻** ボタンを押します。



- ④ **M** ボタンを長押しして動画モード画面に戻ります。

4-6. 本体の初期化

本体の設定を工場出荷時に戻します。録画されたファイルは削除されません。

- ①各モード時（動画モードでは録画停止中）、**M** ボタンを 2 回押します。「共通設定」画面が表示されます。
- ② **▲ ▼** ボタンで「初期設定」にカーソルを合わせ、**⏻** ボタンを押します。
- ③「実行」にカーソルを合わせ、**⏻** ボタンを押します。
- ④ **M** ボタンを押して元の画面に戻ります。

4-7. PC との接続

本製品はWindowsPCとUSB接続し、外部ストレージとしてファイルのコピーを行うことができます。また、本製品をPCカメラとして使用することもできます。

●本体をUSB接続する

本体の電源をOFFにし、本体のUSB端子とPCのUSB端子をUSBケーブルで接続します。

※USBケーブルは同梱されません。別途ご用意ください。

PC側で認識されると、「マスストレージ」か「PCカメラ」（フロントカメラのみ認識されます）を選択する画面が表示されます。

（PC接続なし）を選択すると電源供給のみが行われます。

マスストレージ

PCカメラ

PC接続なし

いずれかを   ボタンで選択し、 ボタンを押して決定します。

外部ストレージやPCカメラとしての使用方法是PCや各種ソフトの取扱説明書等を参照してください。また、取り外す際はOSで定められた方法で、安全に取り外すようにしてください。

※PCによっては、PCカメラとして使用できない場合があります。

●microSDHC/SDXCカードを直接PC等で読み込む

SD (microSD) カードスロットのあるPC等では、microSDHC/SDXCカードから直接ファイルを読み込むことができます。

※ファイルのコピー／再生の詳細な方法については、PCの取扱説明書等を参照してください。

4-8. 設定値一覧

設定項目	設定値（初期値は太字）	参照ページ
共通設定		
画面表示オフ設定	オフ／1分／3分／5分／10分	-
電源自動オフ設定	オフ／3分／5分／10分	-
周波数	50Hz ／60Hz	-
操作音	オフ／オン	-
言語設定	日本語 ／English	-
日付／時刻	※システムの日付時刻を設定	13
フォーマット	キャンセル／実行	29
初期設定	キャンセル／実行	29
バージョン	※現在のバージョンを表示	-
動画		
解像度	1080P ／720P	25
繰り返し録画時間設定	1分 ／3分／5分	22
HDR	オフ／オン	25
音声録音	オフ／オン	25
日付表示	オフ／オン	25
G センサー	オフ／低／中／高	24
駐車監視	オフ／オン	23
静止画		
日付表示	オフ／オン	26
再生		
削除	削除／すべて削除	28
保護	ロック／ロック解除／全ファイルロック／全ファイルロック解除	28

5 仕様表

型番	DX-W1080
対応電源	シガーソケット電源 (DC12V) / USB電源 (5V) ※
内蔵バッテリー	リチウムイオン電池 200mAh/3.7V ※USB 電源では正常に録画できない場合あり
記録媒体	microSDHC/SDXCカード16GB～64GB (class10以上) ※32GBでの録画時間:約120分 ※時間は目安であり、120 分間の録画を保証するものではありません。
カメラ画素数	フロント:200万画素 リアカメラ: 200万画素
機能	駐車監視/Gセンサー
動画サイズ	1920 X 1080 27.3fps (リアカメラ 1920 X 1080 25fps)
静止画サイズ	フロント:1920x1080、リアカメラ:1920x1080
液晶サイズ	3.0インチ
動作環境温度	0～45℃
外形寸法	約90(幅)×34(奥行)×53(高さ)mm
重量	フロントカメラ 約65g リアカメラ約25g
付属品	カメラ本体、リアカメラ、本体-リアカメラ接続ケーブル、マウンタ、シガープラグアダプタ、両面テープ、取扱説明書

6 お手入れ・メンテナンス

本体部分の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。本製品は精密機器のため、水や洗剤等、液体は使用しないでください。

●廃棄する場合は

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体が定める方法に従って廃棄してください。

7 故障かな?と思ったら

電源が入らない (電源が不安定)	○シガープラグアダプタが正しく装着されているか確認してください。  16 ページ ○シガーソケット内が汚れていたり、埃が付着していると正しく給電されません。清掃を行ってください。 ○バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電されている可能性があります。本製品のバッテリーは日時等の設定保持専用です。電源に接続して使用してください。
電源が勝手に切れる 録画が勝手に止まる	○電源に正しく接続されているか、コネクタを確認してください。  16 ページ ○ご使用のmicroSDHC/SDXCカードに不具合が生じると撮影した録画ファイルのカードへの保存ができなくなり、録画が止まっていたり、電源が切れたりする場合があります。まず、ご使用のmicroSDHC/SDXCカードをフォーマットして正常に使用できるか確認し、壊れたカードは、新しいカードと交換してください。  29 ページ ○Gセンサーを有効にした場合など、短期間で保護ファイルが増えてご使用のmicroSDHC/SDXCカードの空き容量が不足する場合があります。新たに録画できなくなりますので、大事なファイルはPC等でバックアップをとり、定期的に

	フォーマットを行うか、新しいカードと交換を行ってください。
	○電源 ON のままでリアカメラ接続端子にリアカメラからのケーブルを接続すると、液晶表示が消えたり、電源が切れる場合があります。  ボタンを長押しするか、本体上部のリセットボタンを押して強制的に電源 OFF にし、その後再起動してください。 ケーブルの接続は必ず電源を OFF にしておこなってください。
日付時刻設定がずれる	○内蔵バッテリーが放電すると、時計保持が解除され日付時刻が初期設定に戻っている場合があります。長時間使用せず放置された場合は必ず、日付時刻が合っているか確認し、ずれていたら再設定してください。  13 ページ
LED 信号機の光が正しく撮影できない	○LED 信号機の周波数とカメラのフレームレートが同期して、信号機の光源が点滅したり映らないという現象が発生することがありますが、故障ではありません。
リアカメラの映像が表示されない／録画されない	○ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。 ○録画モードで  ボタンを押すとフロントカメラ／リアカメラの表示レイアウトが変更できます。何度か  ボタンを押し、リアカメラの画像が表示されるか確認してください。

液晶画面が消えた	○「画面自動オフ設定」の時間を設定した場合、一定時間操作がないと画面表示がオフになります。その場合、いずれかのボタンを押すと再度画面表示されます。 ○電源ONのままでリアカメラ接続端子にリアカメラからのケーブルを接続すると、液晶表示が消えたり、電源が切れる場合があります。  ボタンを長押しするか、本体底面のリセットボタンを押して強制的に電源OFFにし、その後再起動してください。 ケーブルの接続は必ず電源をOFFにしておこなってください。
ファイルが保存されていない／ファイルが壊れていて読み込めない	○microSDHC/SDXCカードが正しくセットされているか確認してください（カチッと音がするまで入れてください）。 また、microSDHC/SDXCカードが無ければ撮影はできません。  10 ページ ○新品、または他の機種で使用していたmicroSDHC/SDXCカードは本製品にセット後、フォーマットしてから使用してください。  29 ページ ○microSDHC/SDXCカードが壊れている可能性があります。確認し、新しいカードと交換してください。 ○Gセンサーを有効にした場合など、短期間で保護ファイルが増えてご使用のmicroSDHC/SDXC

	カードの空き容量が不足する場合があります。 新たに録画できなくなりますので、大事なファイルはPC等でバックアップをとり、定期的にフォーマットを行うか、新しいカードと交換を行ってください。 ○使用できるのは16GBから64GBのclass10以上のカードです。規格が異なる場合、本製品で使うことができません。 ○microSDHC/SDXCカードは消耗品です。定期的にフォーマットをして使用し、フォーマットしても使用できないカードは、新しいカードと交換してください。
ボタン操作ができない／本体が操作できない	○本体上部のリセットボタンを押してください。強制的に電源OFFになりますので、再度電源を入れてください。 ピン状のもので押してください

8 アフターサービス

①初期不良について

本体・付属品がはじめてから破損している場合は、購入日とお買い上げの販売店を証明できる書類をご用意のうえ、14日以内に販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。14日を過ぎての交換依頼には応じられませんのでご了承ください。

一度ご使用になった製品は、原則として返品をお受けすることができません。ただし、あきらかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換いたします。その他の責は一切、お受けすることができませんのであらかじめご了承ください。

②修理を依頼されるとき

※保証期間中は製品に製品保証書を添えてお買い上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。



株式会社TOHOホームページ
<https://toho-corporation.com/>

製品保証書

持込修理

〈保証規定〉

このたびは、ダブルフル HD ドライブレコーダーをご購入頂きありがとうございます。
当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の権益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

- ①ご購入日から1年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と、保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理、または新品と交換いたします。
 - ②本体以外の付属品については、初期不良時の交換のみ無償対応いたします。
(購入日より14日以内)
 - ③本製品をネットオークション、ネットフリーマーケットまたはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。
 - ④本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理や初期不良交換の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。
 - ⑤保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
 - ※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
 - ※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - ※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ※本書の提示がない場合。
 - ※本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。
 - 太枠線内はご購入後、お客様自身をご記入ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。



製品保証書

製品名

ダブルフルHDドライブレコーダー DX-W1080

保証期間(お買い上げ日より)

お買い上げ日

本体 1年間

年

月

日

お
客
様

フリガナ

お名前

様

ご住所

〒

ー

電話番号(

)

ー

取扱販売店名・住所・電話番号

販売元 株式会社TOHO



サポートセンター電話番号

03-6803-0191

受付時間／月～金 10:00～12:00

13:00～17:00

土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く